

事務事業名		綾里地区漁業集落環境整備事業		☒ 実施計画登載事業 ☐ 総合戦略登載事業	
政策体系	政策名	011 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間	
	施策名	011 地域活力を担う水産業の振興			
	基本事業名	04 漁港・漁業集落の基盤整備		☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始 年度～)	
根拠法令				☒ 期間限定複数年度 【計画期間】 元 年度 ～ 8 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入	
所属	部課名	農林水産部水産課		事務事業区分 A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)	
	課長名	今野 勝則			
	係名	集落環境係	電話 27-3111		
	担当者	館下 睦章	内線 269		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・農山漁村地域整備交付金事業により、綾里地区の水産飲雑用水施設、漁業集落排水施設整備、集落道当を整備するもの。 ・令和元年度は、事業認可に向け、委託により基本計画策定に必要な地区内状況調査及び住民意向調査業務を実施した。				全体計画(※期間限定複数年度のみ)	
				総投入量 (千円)	国庫支出金 1,417,500 都道府県支出金 地方債 1,275,750 その他 一般財源 151,480 事業費計(A) 2,844,730
					正規職員従事人数 7 延べ業務時間 25,920 人件費計(B) 103,680
					トータルコスト(A)+(B) 2,948,410

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標			(5) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)			名称 単位 ア 水産飲雑用水施設整備計画(管路延長) m イ 漁業集落排水施設整備計画(管路延長) m ウ 集落道整備計画(延長) m	
前年度実績(前年度に行った主な活動)				
基本計画策定にかかる調査業務の発注。				
今年度計画(今年度に計画している主な活動)				
基本調査策定業務の発注。				
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等			(6) 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
・綾里地区の住民、綾里地区(小石浜、砂子浜、小路は除く)			名称 単位 カ 水産飲雑用水施設整備実施(管路延長) m キ 漁業集落排水施設整備実施(管路延長) m ク 集落道整備実施(延長) m	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)			(7) 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
・生活環境の向上、綾里湾の水質改善を図る。			名称 単位 サ 水産飲雑用水施設事業進捗率(事業費ベース) % シ 漁業集落排水施設事業進捗率(事業費ベース) % ス 集落道事業進捗率 %	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)				
・漁村全体の生活環境の向上が図られる。				

(2) 総事業費・指標等の推移										
			年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(実績)	2年度(目標)	
			単位							
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円						
			都道府県支出金	千 円						
			地方債	千 円						
			その他	千 円						
			一般財源	千 円					4,730	5,000
			事業費計 (A)	千 円	0	0	0	0	4,730	5,000
	人件費	正規職員従事人数	人					3	3	
		延べ業務時間	時 間					2,160	2,160	
		人件費計 (B)	千 円	0	0	0	0	8,640	8,640	
		トータルコスト(A)+(B)	千 円	0	0	0	0	13,370	13,640	
⑤活動指標		ア	m					—	—	
		イ	m					—	—	
		ウ	m					—	—	
⑥対象指標		カ	m					—	—	
		キ	m					—	—	
		ク	m					—	—	
⑦成果指標		サ	%					—	—	
		シ	%					—	—	
		ス	%					—	—	

事務事業ID	1369	事務事業名	綾里地区漁業集落環境整備事業
--------	------	-------	----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

市内中心部より生活基盤の整備が遅れている漁港背後集落の生活環境の改善を図るため、令和元、2年度に市単独費により基本計画策定を実施し、事業認可を令和2年度内に受ける予定で、令和3年度から国の補助事業により事業を着手する。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

水産庁所管の農山漁村地域整備交付金事業を活用して整備するもので、令和元年度に越喜来地区漁業集落環境整備事業完了に伴い、本事業を着手した。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

地元からは早期整備の要望があった。

2 評価の部(SEE)＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】 集落内の生活基盤を整備することで、漁村環境を向上させ、豊かな市民生活が実現できるため結びついている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】 集落内の快適な生活環境の整備を行うものであり、市管理の簡易水道、集落排水施設、集落道等の公共施設整備のため妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】 当該事業は、国庫補助事業の認可が必要であり、必要最小限の事業メニューのため、対象、意図とも妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 本事業は、集落内の状況及び地元要望も踏まえた計画により実施するものであり向上の余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 本事業を廃止・休止することにより、市内中心部との生活環境の格差が拡大する。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 汚水処理施設(漁業集落排水施設)について、市が整備する集合処理方式ではなく、個人で整備する個別処理方式(合併浄化槽)とすることで事業費削減の余地はある。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 汚水処理施設(漁業集落排水施設)について、市が整備する集合処理方式ではなく、個人で整備する個別処理方式(合併浄化槽)とすることで事業費削減の余地はある。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 漁業集落排水施設は、集落内世帯の受益者負担が伴う。それ以外の施設は、極めて公共性の高い施設であることから、受益者負担にはなじまないものである。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性

- ① 現状維持
- 2 改革改善(縮小・統合含む)
- 3 終了・廃止・休止

・漁業集落である綾里地区の排水施設や集落道などの生活環境施設を整備し、快適な生活を創出し、漁業の振興を図るため引き続き実施する。

(2) 改革・改善による期待成果

左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。
(終了・廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		●	×
	低下	×	×	×

(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等

地域住民との合意形成を図りつつ、事業メニューを決定し事業認可を受ける。

4 課長等意見

(1) 今後の方向性

- 1 現状維持
- ② 改革改善(縮小・統合含む)
- 3 終了・廃止・休止

(2) 全体総括・今後の改革改善の内容

地域住民との合意形成に基づいた事業メニューの確定。